

令和7年度 第1回宗像市地域公共交通活性化協議会 会議録要旨

日 時	令和7年5月14日（水） 15時35分～16時30分
場 所	宗像市役所本館 103A会議室
出席者	【委員】内田忠治（会長）、川下英次郎、古野貴史（代理）、池田舞、出田貴宏、洲上大輔（代理）、矢加部忍、古後澄雄、大枝良直、川野一代（代理）、辻美貴善（代理）、武末将児（代理）、宮地信裕 【オブザーバー】安増裕希、宮本英明、四元浩、宮部佑一、吉武修平 【事務局】内田忠治、大塚将司、春本英憲、平島佳世子、大内田賢美、櫻井翔子
1 議事	(1) 令和6年度 活動報告 (2) 令和6年度 歳入歳出決算 (3) 監査報告 (4) 令和7年度 事業計画（案） (5) 令和7年度 歳入歳出予算（案） (6) 宗像市地域公共交通計画の変更（案） (7) 地域内フィーダー系統補助金活用について

区分	発言内容等
会長	議事（1）令和6年度 活動報告、議事（2）令和6年度 歳入歳出決算、議事（3）監査報告の3議案については関連があるため、一括して事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に沿って議事（1）令和6年度 活動報告、議事（2）令和6年度 歳入歳出決算、議事（3）監査報告について説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。 （一同質疑なし。承認いただく。）
会長	議事（4）令和7年度 事業計画（案）、議事（5）令和7年度 歳入歳出予算（案）の2議案については関連があるため、一括して事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に沿って（4）令和7年度 事業計画（案）、議事（5）令和7年度 歳入歳出予算（案）について説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。 （一同質疑なし。承認いただく。）
会長	議事（6）宗像市地域公共交通計画の変更（案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に沿って議事（6）宗像市地域公共交通計画の変更（案）について説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。 （一同質疑なし。承認いただく。）
会長	議事（7）地域内フィーダー系統補助金活用について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に沿って議事（7）地域内フィーダー系統補助金活用について説明。 今後、軽微な修正がある場合、事務局に一任頂けるかも併せて承認いただきたい。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。
辻代理	資料「表1 地域公共交通維持により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者（地域内フィーダー系統）」各運行系統の計画運行の項目に運行日数122日と記載がある。公共ライドシェアの本格運行開始月からの日数か。

事務局	▶ 本格運行開始月からの日数である。
辻代理	路線バス「津屋崎鐘崎線」との接続が前提で記載されているが、本日の会議で廃止の申し出があっている状況かと思われる。現在はまだ協議中であるのか。
事務局	▶ 全区間廃止と申し出があっているが、一部路線の維持について相談・協議している。
武末代理	▶ 路線の残し方次第では、幹線系統にかかる話であるため前広に情報を共有して頂きたい。場合によっては要件に当てはまるかどうかの検討を要することもある。補助金の観点で運輸局が相談を受けることも可能。
事務局	▶ 旧玄海地区と旧宗像地区の接続が確実に出来ていないと幹線系統として認められないと認識している。西日本鉄道株式会社様と協議させて頂きたい。
池田委員	オンデマンドバスと公共ライドシェアの収支率の出し方についてお聞きしたい。
事務局	▶ オンデマンドバスの収支率は、今のオンデマンドバスを開始してからの収支率の伸びを加味して決定している。大島地区を導入した段階では、一旦全体としての収支率は下がると想定されるが、伸び率を加味し現状の40%程度を維持できると考えている。 公共ライドシェアについては、今のコミュニティバスの利用者数を基にして、収支率と乗降の利用者数の割合を考慮し、得られる料金を加味して収支率を算出した。
会長	他に質疑等はあるか。文言の修正等、軽微な修正は事務局一任でよいか。（一同質疑なし。承認いただく。）
会長	その他について事務局から説明をお願いする。
事務局	次回の開催について。7月28～30日を予定している。本日欠席の委員もいるため、後日メールにて日程調整を行う。
会長	これをもって令和7年度第1回宗像市地域公共交通活性化協議会を終了する。

(以上)